

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

全ての児童に対して、

○基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。

・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる。(自校テストの知識・技能観点の達成率を85%以上にする。)

・たし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。(自校テストの知識・技能観点の達成率を85%以上にする。)

○思考力・判断力・表現力を高める。

・令和3年度全国学力・学習状況調査(算数)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度(数学的な考え方)より自校の平均正答率を2pt向上させる。

○平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質・能力の育成。

・さいたま市学習状況調査【主権者教育】における「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より2pt向上させた値にする。

具体的な手立て

①「ドリルパーク」の学習履歴を活用し、児童が自分の学習内容の理解を把握し、学習の進め方を自ら調整していくことができるように個に応じた支援を行う。

②児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。

③どの単元においても、解決方法の見通しをもつ場面を設定する。

④思考を可視化して表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。

⑤NIE実践指定校の取組として、児童が新聞に触れる機会を設定する。

⑥書く活動を通じた国語科の学習力の向上に向けて、各学年の発達段階に応じた取組を学年共通で行う。

⑦GIGAスクール構想に基づき、全校をあげて研究を推進し、ICTを活用した学びの改革を進め、プログラミング教育等を実践していく。

結果

今年度の振り返り・次年度に向けて